

我が家の防災、防犯、地震対策

114号 我が家の地震対策は、最初に持ち出すものは「命」を前提に、備えるもの、連絡方法などを紹介しています。

118号 防犯、128号 防災として地域の活動を紹介、186号では停電、163号、191号は多くなっている自転車事故についても取り上げました。

もっと公共施設の利用を

121号 みんなの活動拠点鶴瀬西交流センターは、平成28年4月から29年1月までの10か月で、利用者が8万人を超えているのに、まだまだ利用してほしいと企画しました。ほかに地域で利用できる集会所(123号)や鶴瀬西図書館(125号)、公園(130号)も紹介しました。

多くの方に「登場」いただきました



今年の抱負、地域の文化人、ふるさと紹介、心に残る旅、うれしいひなまつり、ペットといっしょ、バードウォッチングなど、お顔を出してお話していただきました。これぞ顔の見える豊かな地域ではないでしょうか。豊かな地域と言え、町会(120号)やボランティアの活動も必須です。

108号 1人はみんなのためにみんなは一人のためにはボランティアを、166号では人材バンクについて紹介しました。

子ども特集

103号 大きくふくらまそうぼくの夢わたしの夢は、子どもの夢を聞くとともに、どんな子どもにもってほしいか、お母さんや子どもと接する機会が多い方にお話していただきました。

150号 子どもたちの考える富士見市は、つるせ台・関沢小学校の4、6年生にアンケートをとりとめました。苦勞してまとめたのに次のステップへ生かされていないのが残念です。

160号 子育て中に利用してほしい子ども未来応援センターを紹介しました。



戦争を語り継ぐ

148号、158号 私の戦中体験は、子どものころ戦争を体験した方々に原稿をお寄せいただきました。年に1回くらいは、過去に思いをはせ、これからの考えることも必要だと思います。

148号、158号 私の戦中体験は、子どものころ戦争を体験した方々に原稿をお寄せいただきました。年に1回くらいは、過去に思いをはせ、これからの考えることも必要だと思います。



極暑続くいつまで

193号 今年の夏をどう乗り切るか 暑く長い夏が続くわりには、特集したのはこの号だけ。7・8号が合併号になっていて、祭りの紹介に充てられていて特集しにくかったかも。

コロナ禍 長かったな

153号 どんな生活をしていますか、コロナが猛威を振るう中で、取材に伺うことも、編集会議を開くこともままならず、編集委員一人ひとりが原稿を書きまわりました。164号も154号は、コロナQ&A。174号になってやっと地域の方に原稿をお願いすることが出来るようになりました。

郷土の昔を振り返り 地域の今を知る



今も残る字から、昔はこんなところだったのか探ってみました。イラスト、漫画を描くことが大好きという萩原編集委員の特技を十分に生かした特集になりました。138号丸池、140号権平山、145号八ヶ上、162号上沢です。また、今の地域の見どころも紹介しました。

131号、152号、172号では散歩道、181号ではお花見スポットを、183号では新河岸川を散策しました。西地域にこだわっていた紙面でしたが、少し広げて紹介するようになりました。188号、198号は神社仏閣でした。



つるせ西だより200号

「つるせ西だより」のバックナンバーは、いつでも鶴瀬西交流センターで閲覧可能です

この10年、多く取り上げてきた特集記事を振り返ってみました。地域に密着した情報を提供するために、顔の見える地域にするために、いろいろな視点から地域を探訪してきました。お役に立ちましたでしょうか。300号に向けてますますのご支援をよろしくお願いいたします。 編集委員一同

つるせ西だよりの次なるステージへ期待

所長 鳥海 謙一

つるせ西だより200号発行にあたるまで紙面づくりに携わっていただけの編集委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

これまでのつるせ西だよりのバックナンバーを振り返ると、表紙では写真を取り入れ「地域の風景(情景)」、「まちかどウォッチング(まちの話)」と題し、各編集委員の独創的なアイデアと豊かな着眼性をもとに紙面が構成されてきました。2・3面では、年頭に考案しあったテーマを「今月の特集」とし、まちに飛び出し取材を重ねながら紙面作成を日々手がけておられます。

つるせ西だよりの特徴は、「読者ファーストを念頭に置き、親しみと興味の湧く身近な情報紙」だと実感しております。

次なる未来への目標300号の発行に向け、編集委員の皆様として読者である西地域の皆様とともに、さらに充実した紙面を作りあげていくと期待しています。

生活に密着した課題

生活に密着した課題を取り上げたのは、103号 水はどこから。 112号 捨てればゴミ 使えば資源。113号 生活排水はどこへ。 168号 プラスチック

ゴミの今です。水道課、下水道課や利彩館に取材をしました。西地域にある鶴瀬西配水場は衛生面、防犯面から見学が許可されませんでした。



地域のまつりやフェスティバル

104号 まつりだワッショイワッショイは、7月に行われる西交流センター縁日を紹介するとともに地域の祭りを紹介しています。106号 祝10年交流センターフェスティバルはフェスティバルを紹介するものです。毎年恒例で紹介していますが、多くの皆さんに参加していただくために必要な情報と考えています。



シニア世代に向けて

101号 ただいまオシたちエンジョイ中は、シニアになっても団体やサークルに参加して生き生きと活動している方を紹介しました。健康のため、家にも呼びかけました。115号、141号、155号、187号、195号でも取り上げました。これからシニアになる方にも参考にしたいですね。

